
令和8年度 第2回 久留米市地域公共交通会議

日時:令和8年8月31日(月)

場所:久留米商工会議所 大ホール

議事

議案第10号 久留米市地域公共交通計画策定に向けた
基本理念・将来像及び施策・評価指標について

報告

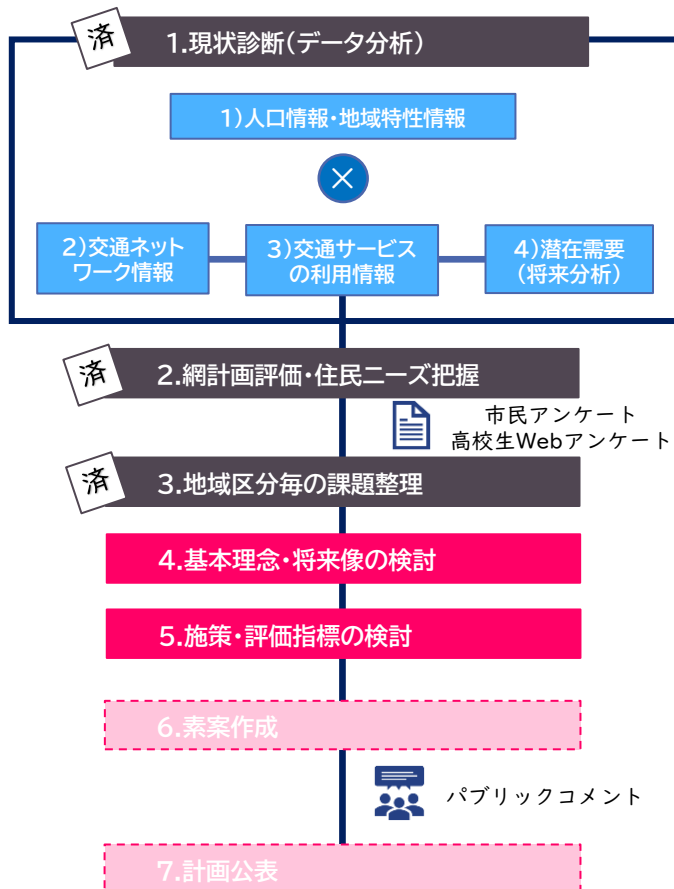
報告第3号 江見線バス「寄人橋バス停」設置場所の変更について

久留米市地域公共交通計画策定に向けた 基本理念・将来像及び施策・評価指標について

令和8年8月31日 提出

1. 計画スケジュール

■計画策定の流れ



■スケジュール

6月30日 第1回地域公共交通会議
(現状診断、課題整理、基本方針等について協議)

8月31日 第2回地域公共交通会議
(基本理念、施策、評価指標等について協議)

10月頃 第3回地域公共交通会議
(計画(素案)について協議)

11月 パブリックコメント

1月 第4回地域公共交通会議
(計画(案)について協議)

2. 課題の整理(おさらい)

前回の交通会議での意見を踏まえ、課題を以下の7項目に再整理しました。

① 公共交通利用者の回復・確保

- ・低い公共交通利用率
- ・自動車保有率の増加と公共交通利用者の減少
- ・路線バスにおける定期利用数の減少
- ・交通渋滞における運行遅延の慢性化

② 公共交通の維持・強化

- ・路線バスの減便・廃止
- ・鉄道利用者の減少
- ・公共交通サービス水準の低下

③ 地域特性に応じた生活支援交通の再構築

- ・よりみちバスの利用低迷
- ・生活支援交通の利用実態と制度設計の乖離
- ・地域輸送資源との運行重複

④ 交通結節機能・回遊性の強化

- ・駅の交通結節機能の充実
- ・ラストワンマイルを支える交通サービスの不足
- ・観光地・拠点間の回遊性確保

⑤ 利用しやすい交通環境の整備

- ・駅・車両のバリアフリー化の遅れ
- ・交通ICカードの利用環境の格差

⑥ 基幹交通とフィーダー交通の体系化

- ・基幹交通への接続を担うフィーダー機能の不足

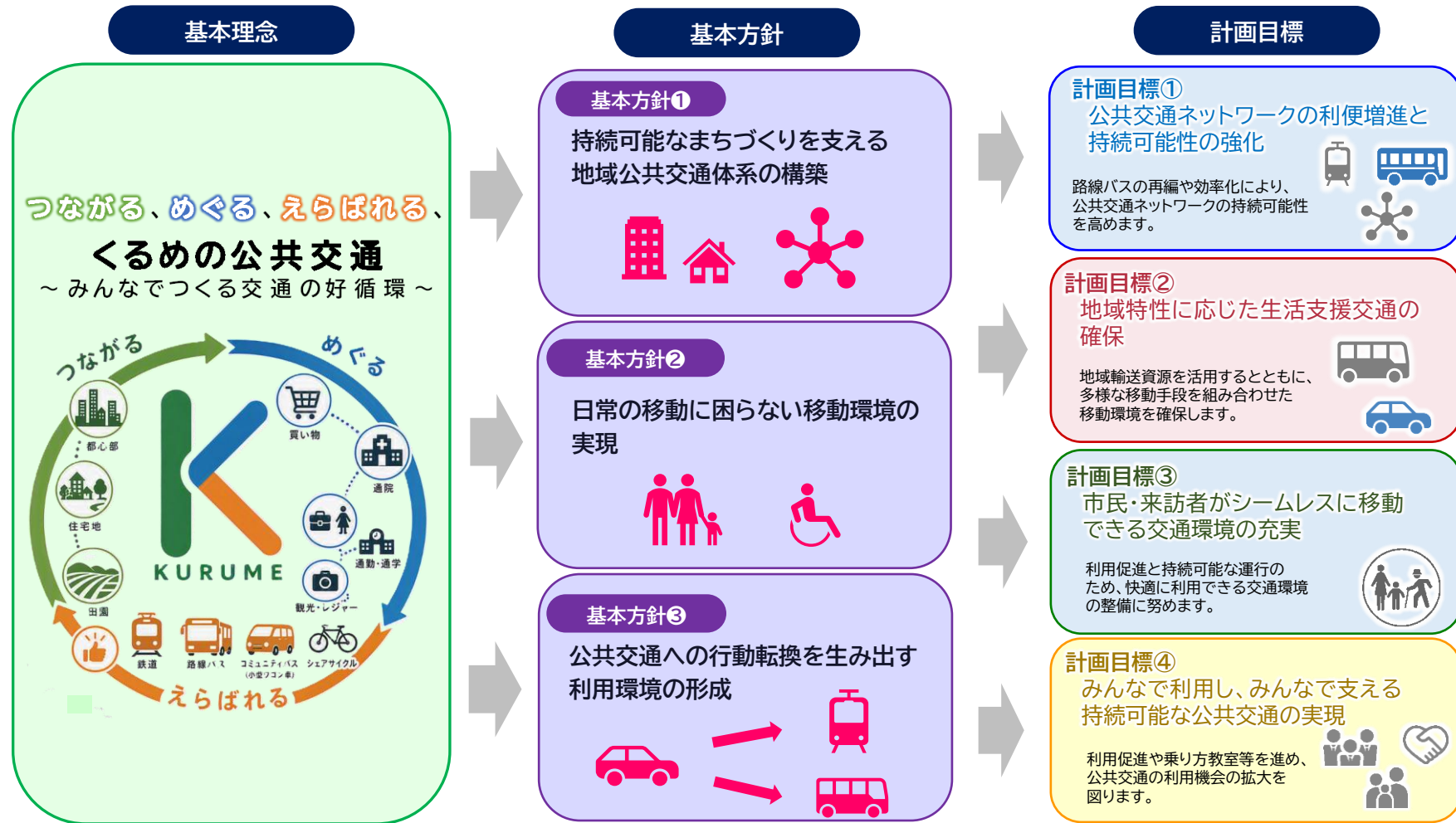
⑦ 地域・交通事業者・行政が支える持続可能な公共交通

- ・交通維持のための財政負担増大
- ・公共交通を支える人材不足

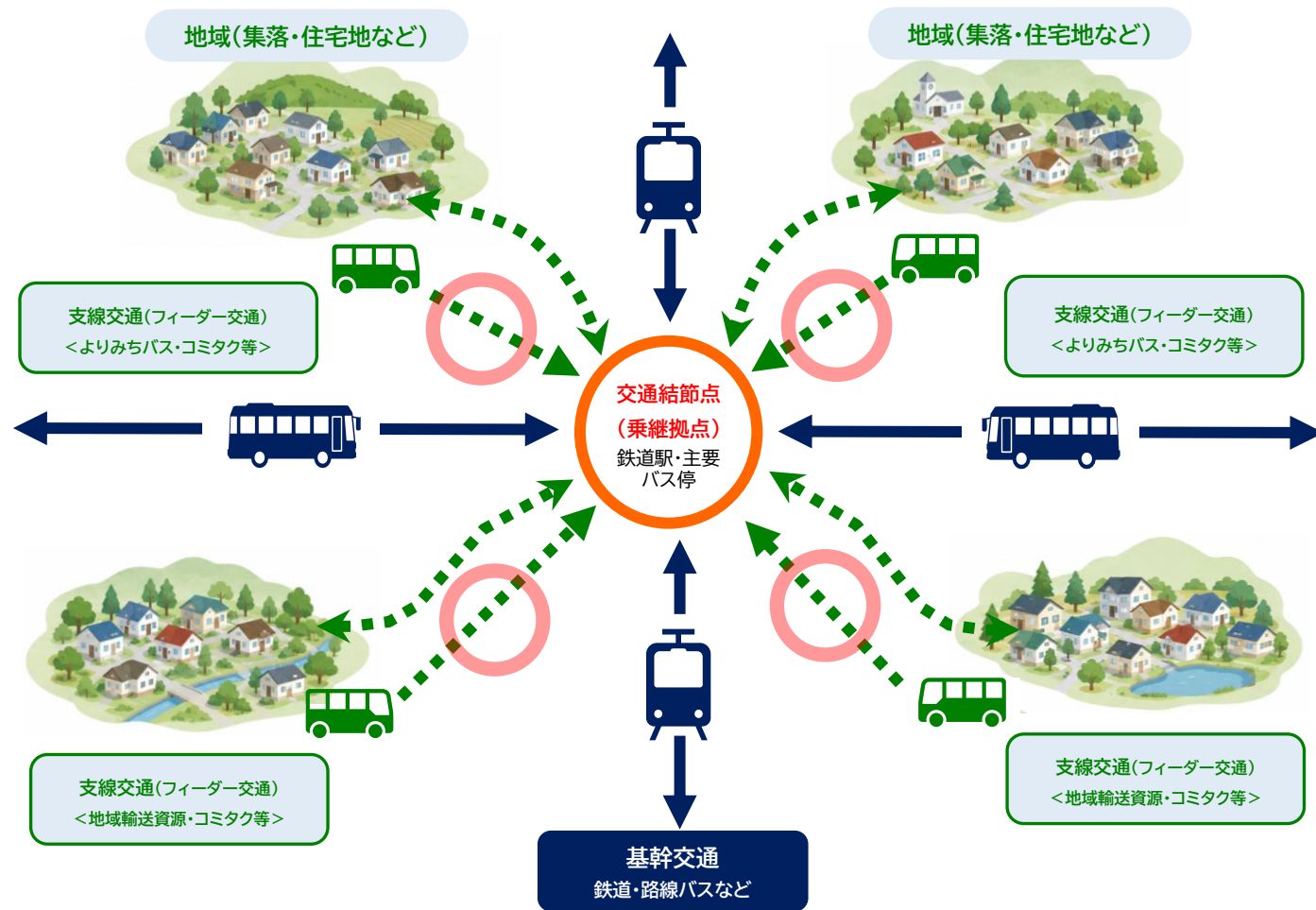
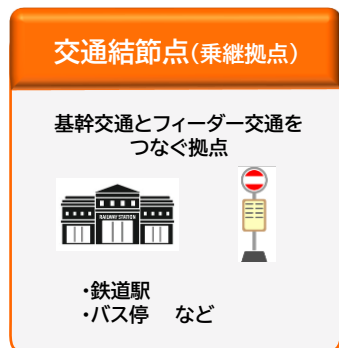
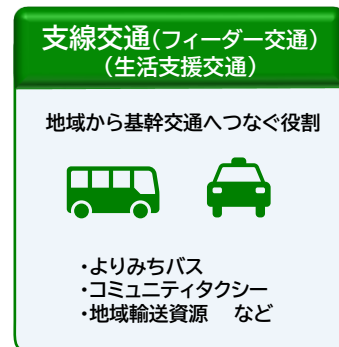
3. 地域公共交通の目指す姿(基本理念・基本方針・計画目標)(案)

本市の交通課題の解決及び地域公共交通の目指す姿の実現に向けて、本計画で目指す基本理念と基本方針を定めます。

また、基本方針に基づき、今後取り組むべき4つの計画目標を定めます。

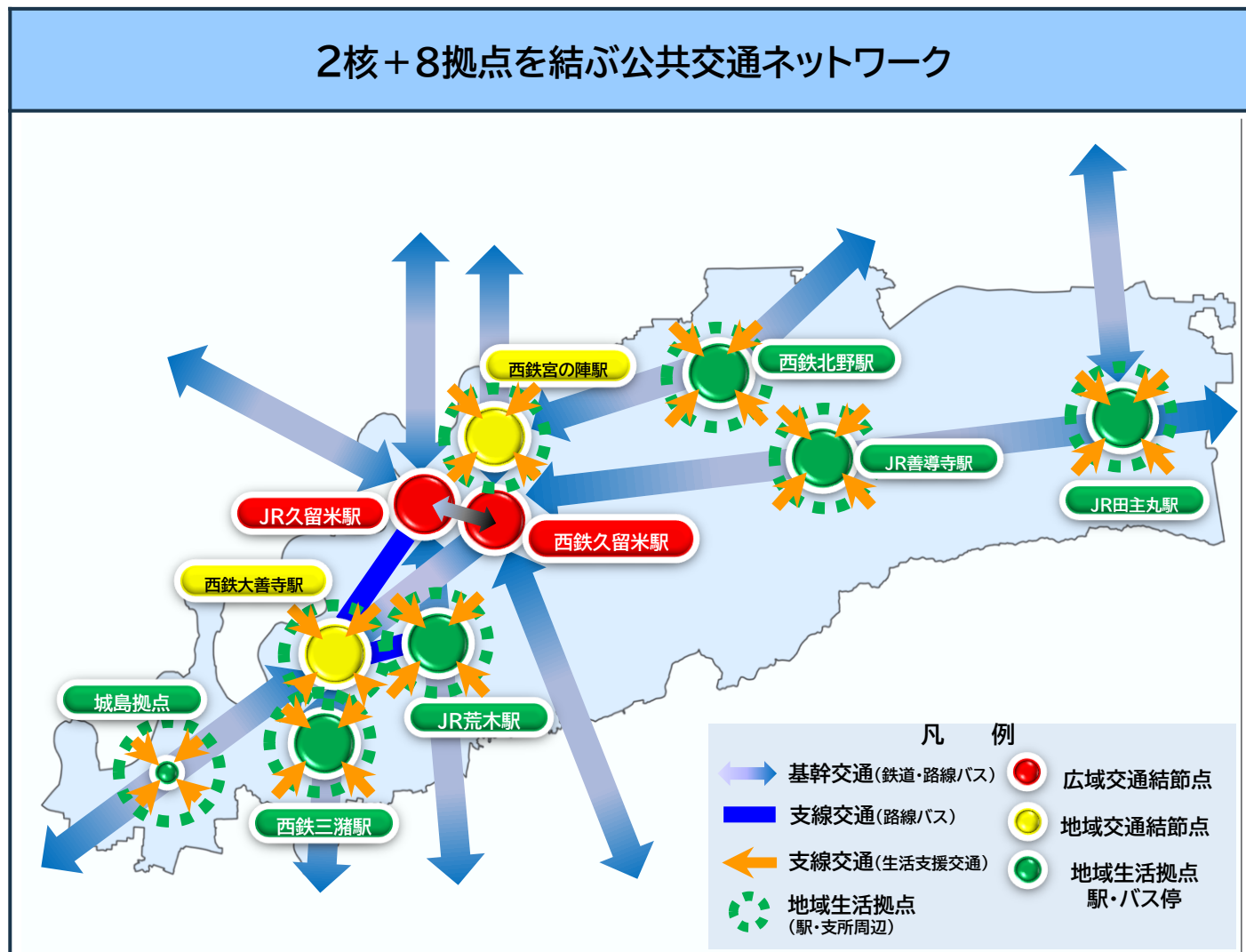


4. 地域公共交通ネットワーク(基本構造)(案)



4. 地域公共交通ネットワーク(将来像)(案)

持続可能で利便性の高い地域公共交通を実現するため、公共交通ネットワークの将来像を示します。



5. 施策の展開(案)

本市の交通課題を解決し、計画目標を達成するための具体的施策を示します。

【具体的施策】

計画目標 1	公共交通ネットワークの利便増進と 持続可能性の強化
-----------	------------------------------



- ・基幹交通の維持・強化
- ・路線バス再編・機能強化
- ・交通結節点の整備・機能強化(バス停プロジェクト等)
- ・モビリティ・ハブの形成 など

計画目標 2	地域特性に応じた 生活支援交通の確保
-----------	-----------------------



- ・生活支援交通の再構築
- ・地域輸送資源の活用
- ・生活支援交通導入ガイドライン策定 など

計画目標 3	市民・来訪者がシームレスに 移動できる交通環境の充実
-----------	-------------------------------



- ・MaaSの推進
- ・シェアサイクルの充実
- ・情報提供のDX化
- ・バリアフリー化 など

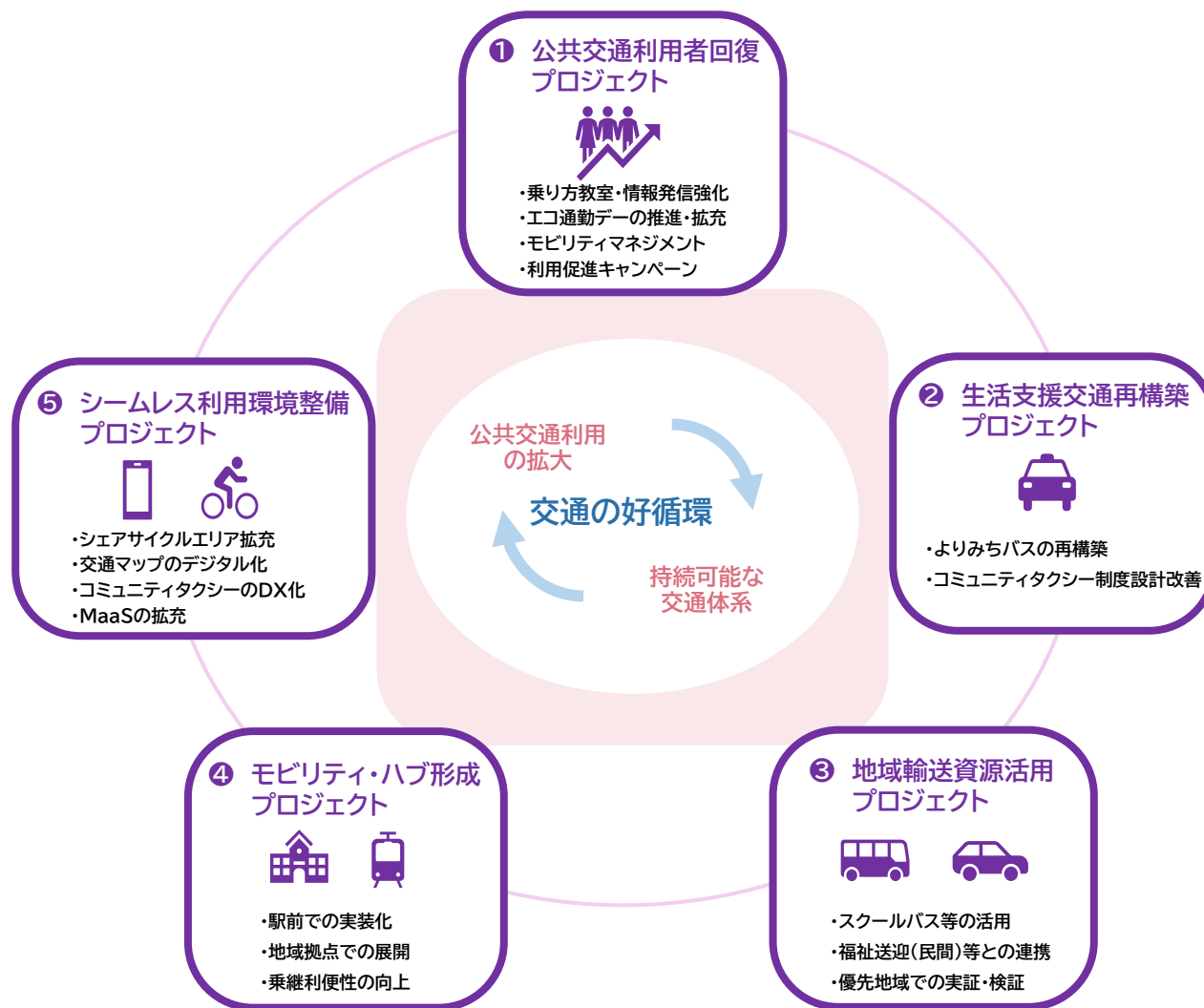
計画目標 4	みんなで利用し、みんなで支える 持続可能な公共交通の実現
-----------	---------------------------------



- ・乗り方教室、エコ通勤デー
- ・モビリティマネジメント
- ・運転士確保
- ・地域・交通事業者・行政の連携体制強化 など

6. 重点プロジェクト(Kプロジェクト)(案)

施策のうち、本計画期間内で重点的に取り組む施策を「重点プロジェクト(Kプロジェクト)」と位置づけて推進します。



6. 重点プロジェクト(Kプロジェクト)(案)

「重点プロジェクト(Kプロジェクト)」の一例を紹介します。

① 公共交通利用者回復プロジェクト



●エコ通勤デー（久留米市）



●バス乗り方教室（久留米市）



●バス・鉄道展inくるめ（久留米市）



② 生活支援交通再構築プロジェクト



●よりみちバスの再構築

課題

- ・フィーダー利用が少ない
- ・バスの乗車率が低く、座席が空いている状況
- ・運行効率が低下し、収支率も悪い



改善(例)

- ・運行時間の最適化
利用者が少ない時間帯の便数を減らす
- ・ルート見直し
駅や商業施設への直結ルートの新設
- ・利用促進
乗り方教室で新規利用者を獲得

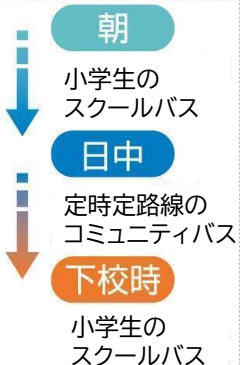
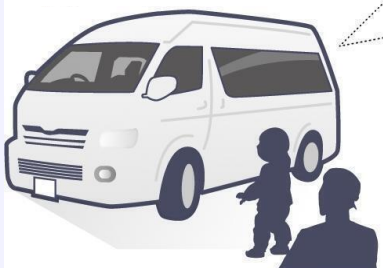
6. 重点プロジェクト(Kプロジェクト)(案)

「重点プロジェクト(Kプロジェクト)」の一例を紹介します。

③ 地域輸送資源活用プロジェクト



●スクールバスの共用化(例)



④ モビリティ・ハブ形成プロジェクト



●モビリティハブ 実証実験



●シェアサイクルのエリア拡大

- 既存エリア
- 京町・鳥飼エリア拡大
- 御井・国分エリア拡大



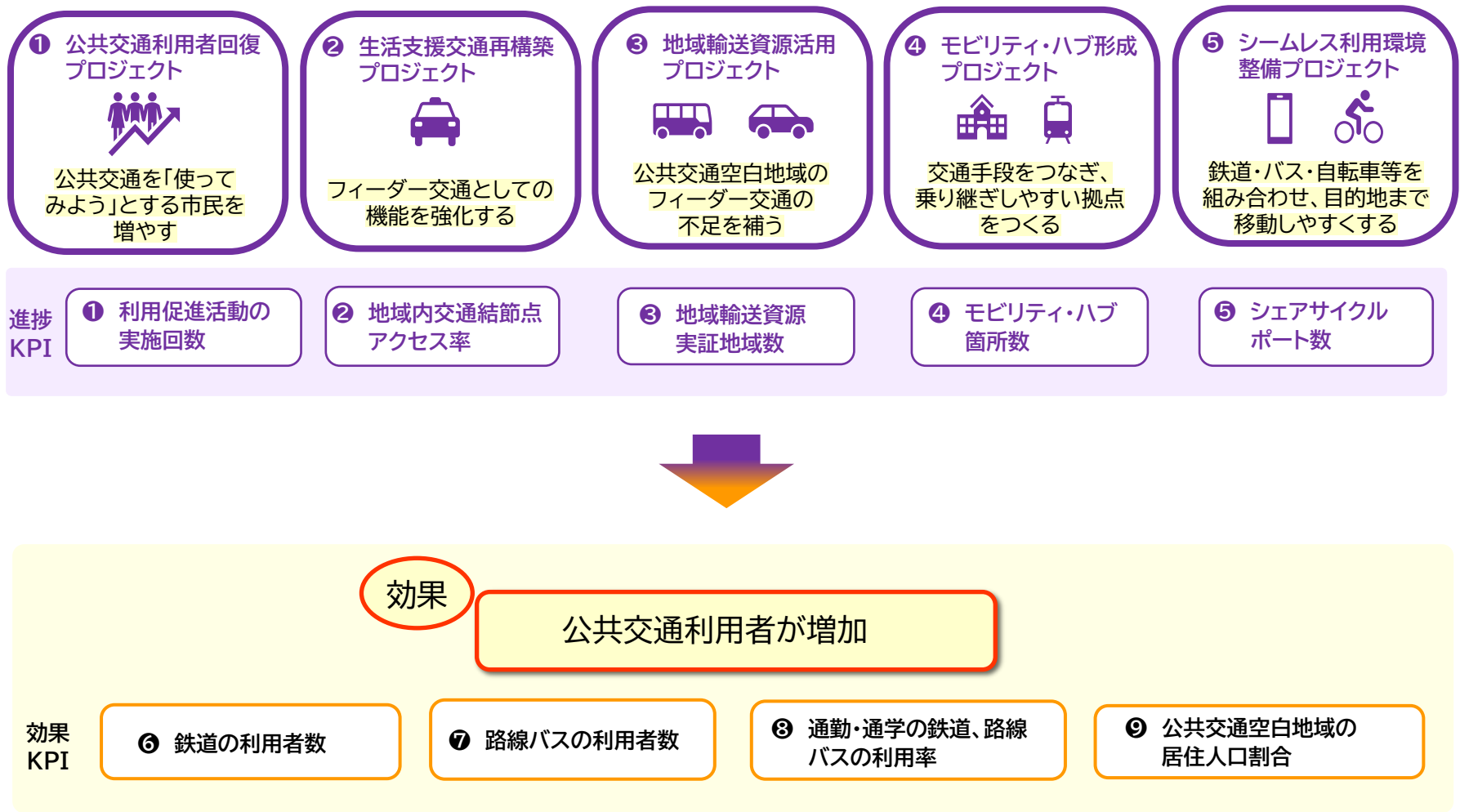
Chari o

●MaaSの推進(デジタルチケット)



7. 評価指標(KPI)(案)

重点プロジェクトの取り組みによって、実現を目指す公共交通の姿を示します。



7. 評価指標(KPI)(案)

計画の進捗・効果を確認するため、進捗KPI(施策の結果)と効果KPI(施策の効果)の2種類を設定します。

			現状値	目標値(R13)
進 捗 K P I	指標1	重点プロジェクト① 利用促進活動の実施回数 エコ通勤デー、乗り方教室、バス・鉄道展等の実施回数	4回/年 (R7年度)	10回/年
	指標2	重点プロジェクト② 地域内交通結節点アクセス率 よりみちバス・コミュニティタクシーの地域内交通結節点(駅・バス停)までの利用率	6.2% (R6年度)	11.6%
	指標3	重点プロジェクト③ 地域輸送資源実証地域数 スクールバス・福祉バス等を活用した実証実験を実施する地域数	0地域 (R7年度)	2地域
	指標4	重点プロジェクト④ モビリティ・ハブ箇所数 モビリティ・ハブを実装する箇所数	0箇所 (R7年度)	2箇所
	指標5	重点プロジェクト⑤ シェアサイクルポート数 シェアサイクルのポート整備数	109ポート (R7年度)	180ポート

※現時点の案として作成しているため、素案では一部変更の可能性あり

7. 評価指標(KPI)(案)

計画の進捗・効果を確認するため、進捗KPI(施策の結果)と効果KPI(施策の効果)の2種類を設定します。

				現状値	目標値(R13)
効果KPI	指標6	鉄道の利用者数 市内鉄道駅の1日あたりの乗降客数		82,500人/日 (R6年度)	82,500人/日 ※1.5%の増を目指す
	指標7	路線バス利用者数 市内路線バスの1日あたりの乗降客数		21,500人/日 (R6年度)	21,500人/日 ※1.5%の増を目指す
	指標8	通勤・通学の鉄道、路線バスの利用率 「市民意識調査」において「公共交通機関の利用頻度」のうち、鉄道・路線バスについて「ほぼ毎日利用」と回答した割合 ※コロナ禍前(H22年度国勢調査時)まで回復	鉄道	8.0% (R7年度)	12.0%
			路線バス	2.8% (R7年度)	5.0%
	指標9	公共交通空白地域の居住人口割合 久留米市の全人口に対する公共交通空白地域に居住する人口の割合 ※地域輸送資源活用等の対策により対象人口割合を減少		17.1% (R7年度)	16.5%

※現時点の案として作成しているため、素案では一部変更の可能性あり

江見線バス「寄人橋バス停」設置場所の変更について

江見線バス「寄人橋バス停」設置場所の変更について、次のとおり報告する。

令和8年8月31日 提出

令和8年6月30日開催の令和8年度第1回久留米市地域公共交通会議議案第9号「路線バス「江見線」代替交通の乗入れについて」にて承認された内容について、下記のとおり変更されたため報告するもの

変更点

「寄人橋バス停」について、バス停利用者の安全性向上及び円滑な乗降環境の確保のため、下記のとおり移転する。

